

製品名

AI（エーアイ）

製品説明

「AI」は、植物の力「フィトンチッド」成分を豊富に含んだ植物エキスです。岐阜県産の杉・檜の葉から抽出した植物液をベースに、独自の配合でブレンドしました。「亜臨界抽出法」で抽出しているため、クリーンで濃厚な植物液です。

「AI」と「SX」は、内容成分はほぼ同じで、どちらも消臭除菌性能は変わりません。「AI」の方は、農業・園芸用に開発したもので、「SX」よりもやや香りが濃いのが特徴です。

主な用途と活用例

- 植物の活性化（野菜、フルーツなど） ※有機 JAS 規格の肥料・土壌改良資材として認可実績あり
- 植物の病気改善・予防（うどんこ病・すす病など）
- VOC の分解（ホルムアルデヒドなど）
- 消臭（アンモニア、酢酸ガス、トリメチルアミンなど）
- 除菌（MRSA/メチシリン耐性黄色ブドウ球菌、大腸菌、緑膿菌、レジオネラ菌など）

<植物活性剤>

AI を 1000～2000 倍に希釈して、スプレーボトルや農業用の噴霧器に移し、葉面散布してください。
※植物の種類によって効果が出にくい場合がありますので、1000 倍、500 倍と、希釈率を変えてください。ただし、濃すぎると葉っぱが枯れることがありますので注意してください。

<消臭除菌剤>

SX や AI を 20～50 倍程度に希釈して、スプレーボトルなどに移し、ニオイや雑菌が気になる箇所にスプレーしてください。空気中にスプレーすることで、森林浴効果も期待できます。

<介護施設や病院の院内感染予防、屋内の消臭除菌>

SX や AI を加湿器のタンクに 300 倍程度に希釈して、加湿器を稼働すると、植物成分が空気中を漂い、室内の空気をきれいに保ちます。MRSA（耐性黄色ブドウ球菌）、レジオネラ菌、大腸菌などは試験データがありますので、別ページをご参考ください。

※加湿器の性能によって効果は変わります。噴霧される水の粒子が細かければ細かいほど、空気中に漂う期間が長くなるため、効果的です。

※インフルエンザウイルスなどの試験データは取得しておりませんが、SX や AI に含まれるヒノキチオールは、様々なウイルスに対し抑制効果があることが分かっています。

使用方法

精製水や水道水などで希釈してお使いください。

（無菌水は液中にモヤが発生しやすくなるため推奨しません）

- 除菌 : 10～30 倍程度に希釈
- 消臭 : 10～50 倍程度に希釈
- 加湿器 : 300 倍程度に希釈
- 植物活性 : 1000～2000 倍程度に希釈（葉面散布）

内容成分

スギ・ヒノキ・アスナロ・モミ・モウソウチク抽出物

抽出方法

亜臨界抽出法（高温・高圧による蒸留）

注文単位と仕切り価格

最小ロット：3 リットル（3 リットル単位でご注文ください）

容器 : アルミパウチ（80 度 30 分間ボイル殺菌可能なパウチです）

仕切り価格：お問い合わせください

使用期限

弊社ではとくに使用期限を設けておりませんが、消費期限を設けた方が都合が良い場合には、2～3 年程度を目安に設定してください。

※植物エキスの特性上、長期間保管した場合に香りや色が若干変化します。

保管上の注意

なるべく気温差が少ない冷暗所で保管してください。

製造元

有限会社アイ・ジャパン（岐阜県可児市川合 2 9 4 - 1）

植物エキス特有の注意事項

- 弊社製品は、エタノールや防腐剤を一切使用しておりません。
- 天然成分のため沈殿物が生じることがあります。
- 長期間保存すると、黒い斑点や白い綿状のモヤが発生することがありますが、これは空気中の微生物が入ることで、植物成分が酵母菌や乳酸菌の成長を助けるためです。害はありませんので濾過してご利用ください。
- 消臭除菌スプレーとして販売する場合などに、モヤの発生が問題になるようでしたら、エタノールや酸化防止剤などを添加してください。原液をアルミパウチのまま保管すればモヤはほぼ発生しませんが、希釈してスプレーボトルなどに移した場合、空気中の菌が混入し、モヤが発生しやすくなります。

一般的な注意事項

- 葉面散布、消臭除菌スプレーとして使用する場合には、必ず希釈してください。
- 肌に直接つけないでください。
- 飲用しないでください。
- 使用中に何かしらの異常を感じた場合は使用をおやめください。
- 高温・多湿・直射日光を避け、子供やペットの手の届かないところで必ずキャップを締めて保管してください。
- 万一誤って飲み込んだり、目に入ったりした場合は、速やかに医師にご相談ください。